

オンラインゲームなどを通じた出会いにより、児童生徒が犯罪に巻き込まれる事件が続いています。

岩手県内では、スマホを含む「情報メディアとの上手な付き合い方」について、教育振興運動の全県共通課題として、多くの実践区で取り組まれ、家庭でのルール作りや、市町村共通のルール作りなどの取り組みが進められています。それでも、使用実態の変化に追いつくことは、なかなか大変です。そこで、今日は保護者が知っておきたい、ゲームのレーティングについてお伝えします。

レーティングとは、映画やテレビゲームを視聴したり使用したりする際の、対象年齢の区分を表示する制度のことです。暴力表現や性的表現、反社会的行為などの、過激な表現の有無によって区分されます。日本では映画倫理規定による『映画レーティング制度』が有名ですが、テレビゲームには、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構による『CEROレーティング』などが実施されています。

ゲームソフトのパッケージに 「CERO A」などと表示され、次のように対象年齢を区分しています。アルファベットの意味は次のとおりです。

[A：全年齢対象 B：12 歳以上 C：15 歳以上 D：17 歳以上  
Z：18 歳以上のみ]

レーティング区分	対象年齢	背表紙帯色
	A 全年齢対象	黒 (■)
	B 12 歳以上対象	緑 (■)
	C 15 歳以上対象	青 (■)
	D 17 歳以上対象	橙 (■)
	Z 18 歳以上のみ対象	赤 (■)

小中学生に流行し、問題になったゲームの一例として「フォートナイト」「荒野行動」などの最後の一人か 1 チームになるまで殺しあうバトルロワイヤル系ゲームは、対象年齢が 15 歳以上、17 歳以上であるにも関わらず、多くの小中学生が年齢を偽るなどして使用し、ゲーム依存などの問題が生じています。またボイスチャット機能で会話をしながらプレーするという特徴からも、ゲームを介した出会いの場になっています。

これからクリスマスやお正月を前に、「ゲームを買ってほしい」「ダウンロードしてほしい」というお子さんのリクエストがあるかもしれません。ゲーム購入の前には対象年齢や内容がふさわしいものかどうか、事前によく調べて判断したいものです。

スマホ購入の際は、契約者は保護者に、使用者を子供にして登録し、年齢を正確に設定することで、年齢対象外のアプリをダウンロードすることを防ぐことができます。併せて必ずフィルタリングを設定しましょう。

しかし、いくら規制をかけても、その理由を子供が納得していなければ、抜け道を探しだそうとします。どんな危険があるかなど、きちんと話し合うことが大切です。【Y】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^\_^))

mailto:[kosodatem@pref.iwate.jp](mailto:kosodatem@pref.iwate.jp)

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」  
> すこやかメルマガ

これからも、どうぞよろしくお願ひします(^\_^)/

\*\*\*\*\*

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索